

Neeet b政策集 #FWE431ED1GXZ

Neeet b

2020年12月13日

◆主軸

- 保守ともリベラルとも融和しない、リアリズム重視の第三勢力
- 官は何もするな 民に任せよ

自然状態を基準とし、ゼロベース思考での問題解決方法を思索。必要最小限かつ実行可能な政策のみを掲げ、選択と集中により立ち向かう。

◆経済

- 解雇規制緩和、及び廃止による労働市場流動化
- 派遣業、特にピンハネの違法化、もしくは同一労働同一賃金
- 日本を IT 高信頼性国家へ 製造業と IT を軸とした実体経済の成長

まずは、終身雇用と年功序列の完全廃止を前提とした、雇用の流動化を目指す。日本最大の武器「製造業の高信頼性」。このブランド力を IT 分野にも浸透させたい。なお、将来的に機械の生産性が人を上回れば、BI もしくは社会主義経済をも視野に入れる。

◆安全保障

- 中国による領土、経済双方の侵略に警戒する
- アメリカを過信せず、日本は軍事的、経済的にある程度自立したい
- 台湾との友好関係強化、ただし適度な緊張感は忘れずに

ある程度は平和主義を前提とするが、外交カードはできるだけ多く持っておきたい。交渉で足元を見られないよう自国の経済、軍事強化。

自由で開かれたインド太平洋戦略について、日本の安全保障が損なわれないよう、主導権を手放さない。

◆社会保障

- 年金廃止
- 公的医療保険制度の窓口負担は全年齢一律、負担額は3割から5割程度へ漸増
- 自殺の自由を背景とした積極的安楽死の導入及び、自殺認定法の策定による他殺と自殺の切り離し

不健康な人や老人は、本来死にやすいのが自然な形である。それらの人の為に、過剰な支援を行うべきではない。

ただし、障害や難病など本人の努力ではどうしようもないものは、なるべくサポートしたい考えでもある。

◆その他

- 民放テレビの周波数帯を大幅縮小、またはオークションで競争させる
- NHKは即時スクランブル化、それで経営が成立しないなら廃止もやむなし
- 結婚制度の補完、マイノリティへの配慮 夫婦別姓や同性婚に対応できる、新たなパートナーシップの制度化
- 皇室は維持する方針
- 当面は原発を消極的維持もしくは廃炉の方針 数十年後における核融合発電の実用化へ期待